

# 東京の里山にふるさとづくり

## 児童養護施設の子供たちに

### NPO法人東京里山開拓団代表 堀崎 茂

3600万人の暮らす世界最大の都市圏・東京も、周辺部には林業が成り立たず、荒れたまま放置された山林が多く残されています。一方で、家族と暮らすことができず、児童養護施設で暮らす子供たちは全国で約3万人、東京圏には約6千人います。私たちNPO法人東京里山開拓団は、両者をつないで環境保全と社会福祉に同時に貢献すること、東京周辺の荒れた里山を児童養護施設の子供たちとともに開拓し「ふるさと」をつくるボランティア活動を進めています。

#### ボランティア団体の立ち上げ

私が東京でサラリーマン子育てをしながら、週末に八王子の荒れた山林を一人、手作業で切り拓き始めたのは10年前です。やがて道や広場ができて風通しや見晴らしが良くなると快適な里山空間に生まれ変わりました。自分だけでなく家族、仲間とも行くようになると、都心から1時間余りにあるとは思えない手つかずの大自然は、子供や大人の心をすぐに解放する特別なチカラと可能性があるのを感じました。

そこで2009年にボランティア団体・東京里山開拓団を立ち上げ、12年からは児童養護施設の子供たちとの里山開拓を開始しました。5年間で40回実施し、参加した子供は二つの施設から延べ200人を超えました。現在は会員・サポーター等約20人とともにNPO法人として運営しています。

子供たちは里山に到着すると、斜面を競走して駆け上ったり、頂上付近の広場でハンモックに癒やされた

り、手作りした展望台・プランコに歓声を上げたりします。お昼はみんなで薪を集めてライター一つで焚き火を起して料理を作り、午後は自由な時間を思い思いに過ごします。ここには通う度に新しい発見があり、居場所、楽しさ、つながり、やりがいを感じられます。子供たちは施設職員も見たことなかった笑顔を見せられたり、失った親との楽しかった思い出を語ってくれたりします。こうして里山に通いながら、私たちは児童養護施設の子供たちにとって里山はどんな場にしたらよいかをずっと試行錯誤してきました。一つ発見したのは、子供たちは大人の企画する自然遊びなんかより、斜面を切り拓いての畑の開墾、邪魔になった根っこ掘り、テーブル土台の石集めといった、大人がしなげればと思っていた地味で大変な作業に目を輝かせて熱中することです。それを見て、里山の活動を単に自然遊びの場や環境教育など大人目線の範囲にとどめては里山の手カラや可能性を十分に生かしていきたくないのです。これまでの里山での

それは自然豊かな日本で可能なはずですが。私たち東京里山開拓団では児童養護施設との活動に加え、二つ目の活動の柱として企業のメンタル対策にプログラムとともに里山を提供する準備も進めています。私たちは都市周辺の荒れた山林を里山として再生し自然の力を生かすことで、お金をかけなくても現代都市社会の抱える課題克服に貢献するモデルケースが示せたらと考えています。

里山で展望台を手作り



#### 手作りのツリーハウス

児童養護施設の子供たちが何より求めていること、それは「ふるさと」を取り戻すことではないか——豊かな自然に抱かれてつまらなないことなどすぐ忘れさせてくれるところ、いつでも気兼ねなく帰って家族や仲間と好きに過ごすことのできる自分の居場所、大人になっても懐かしい記憶とともに蘇ってきて自分の存在を証明してくれる場所。それを証明してあげる場所。

ほりさき・しげる 1971年愛知生まれ。06年から荒れた山林の開拓をはじめ。林野庁、東京都・セブンイレブン記念財団より助成、東京キワニスクラブ・社会公益賞を受賞。

#### 課題克服のモデルケースに

当団体が目指すのは、里山の手カラを現代都市社会の抱える課題克服のために活用することです。北欧では園舎を持たない森の幼稚園やメンタル対策としての森林療法など自然の力を生かして健全な社会を目指す動きが加速していますが、

それは自然豊かな日本で可能なはずですが。私たち東京里山開拓団では児童養護施設との活動に加え、二つ目の活動の柱として企業のメンタル対策にプログラムとともに里山を提供する準備も進めています。私たちは都市周辺の荒れた山林を里山として再生し自然の力を生かすことで、お金をかけなくても現代都市社会の抱える課題克服に貢献するモデルケースが示せたらと考えています。

子供たちは里山に到着すると、斜面を競走して駆け上ったり、頂上付近の広場でハンモックに癒やされた

り、手作りした展望台・プランコに歓声を上げたりします。お昼はみんなで薪を集めてライター一つで焚き火を起して料理を作り、午後は自由な時間を思い思いに過ごします。ここには通う度に新しい発見があり、居場所、楽しさ、つながり、やりがいを感じられます。子供たちは施設職員も見たことなかった笑顔を見せられたり、失った親との楽しかった思い出を語ってくれたりします。こうして里山に通いながら、私たちは児童養護施設の子供たちにとって里山はどんな場にしたらよいかをずっと試行錯誤してきました。一つ発見したのは、子供たちは大人の企画する自然遊びなんかより、斜面を切り拓いての畑の開墾、邪魔になった根っこ掘り、テーブル土台の石集めといった、大人がしなげればと思っていた地味で大変な作業に目を輝かせて熱中することです。それを見て、里山の活動を単に自然遊びの場や環境教育など大人目線の範囲にとどめては里山の手カラや可能性を十分に生かしていきたくないのです。これまでの里山での

それは自然豊かな日本で可能なはずですが。私たち東京里山開拓団では児童養護施設との活動に加え、二つ目の活動の柱として企業のメンタル対策にプログラムとともに里山を提供する準備も進めています。私たちは都市周辺の荒れた山林を里山として再生し自然の力を生かすことで、お金をかけなくても現代都市社会の抱える課題克服に貢献するモデルケースが示せたらと考えています。

それは自然豊かな日本で可能なはずですが。私たち東京里山開拓団では児童養護施設との活動に加え、二つ目の活動の柱として企業のメンタル対策にプログラムとともに里山を提供する準備も進めています。私たちは都市周辺の荒れた山林を里山として再生し自然の力を生かすことで、お金をかけなくても現代都市社会の抱える課題克服に貢献するモデルケースが示せたらと考えています。

それは自然豊かな日本で可能なはずですが。私たち東京里山開拓団では児童養護施設との活動に加え、二つ目の活動の柱として企業のメンタル対策にプログラムとともに里山を提供する準備も進めています。私たちは都市周辺の荒れた山林を里山として再生し自然の力を生かすことで、お金をかけなくても現代都市社会の抱える課題克服に貢献するモデルケースが示せたらと考えています。

元気に山を登る子供たち



子供たちは里山に到着すると、斜面を競走して駆け上ったり、頂上付近の広場でハンモックに癒やされた

り、手作りした展望台・プランコに歓声を上げたりします。お昼はみんなで薪を集めてライター一つで焚き火を起して料理を作り、午後は自由な時間を思い思いに過ごします。ここには通う度に新しい発見があり、居場所、楽しさ、つながり、やりがいを感じられます。子供たちは施設職員も見たことなかった笑顔を見せられたり、失った親との楽しかった思い出を語ってくれたりします。こうして里山に通いながら、私たちは児童養護施設の子供たちにとって里山はどんな場にしたらよいかをずっと試行錯誤してきました。一つ発見したのは、子供たちは大人の企画する自然遊びなんかより、斜面を切り拓いての畑の開墾、邪魔になった根っこ掘り、テーブル土台の石集めといった、大人がしなげればと思っていた地味で大変な作業に目を輝かせて熱中することです。それを見て、里山の活動を単に自然遊びの場や環境教育など大人目線の範囲にとどめては里山の手カラや可能性を十分に生かしていきたくないのです。これまでの里山での

それは自然豊かな日本で可能なはずですが。私たち東京里山開拓団では児童養護施設との活動に加え、二つ目の活動の柱として企業のメンタル対策にプログラムとともに里山を提供する準備も進めています。私たちは都市周辺の荒れた山林を里山として再生し自然の力を生かすことで、お金をかけなくても現代都市社会の抱える課題克服に貢献するモデルケースが示せたらと考えています。

それは自然豊かな日本で可能なはずですが。私たち東京里山開拓団では児童養護施設との活動に加え、二つ目の活動の柱として企業のメンタル対策にプログラムとともに里山を提供する準備も進めています。私たちは都市周辺の荒れた山林を里山として再生し自然の力を生かすことで、お金をかけなくても現代都市社会の抱える課題克服に貢献するモデルケースが示せたらと考えています。

それは自然豊かな日本で可能なはずですが。私たち東京里山開拓団では児童養護施設との活動に加え、二つ目の活動の柱として企業のメンタル対策にプログラムとともに里山を提供する準備も進めています。私たちは都市周辺の荒れた山林を里山として再生し自然の力を生かすことで、お金をかけなくても現代都市社会の抱える課題克服に貢献するモデルケースが示せたらと考えています。